

矢部清流学園
学校だより 5号



善遊善学

学校教育目標 あるさと矢部を愛し、未来を拓く学力と健康な心と体を持ち、共に伸びる
児童・生徒の育成～学校地域家庭をつなぐ「総がかりの教育」の推進～

重点目標 目標に向かって粘り強く取り組む児童生徒の育成

令和6年7月19日 文責 古川 志乃

夏休みスタート! Have a nice vacation!

明日から夏休みがスタートします。家族や親せきと楽しい思い出をたくさんつくってほしいと思います。

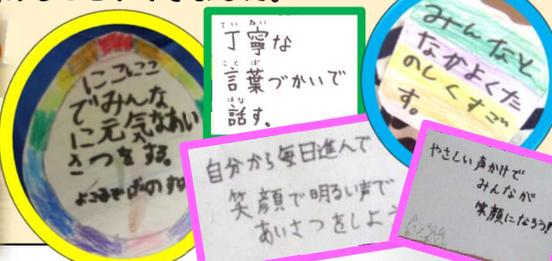
明日7月20日(土)と22日(月)に、バドミントン部はみづま総合体育館にて開催される筑後地区バドミントン大会に挑みます。これまでの練習成果を発揮できるように頑張ってください。一人一人が「あきらめない心」で粘り強く戦い、そして、仲間と支え合い、悔いが残らない試合にしてほしいと願っています。

夏休み中、お祭り等のイベントに出かけたり自然と戯れる遊びを行ったりすることも多いかと思いますが、「夏休みの心得」に記載されていることを守り、事故等がないよう十分に気を付けてください。様々な感染症も依然として流行っているため、感染防止に努め、安心安全に過ごしてほしいと思います。

7月は福岡県同和問題啓発強調月間

同和問題の解決に向けて、同和問題に対する正しい認識と理解を深めるために、八女市でも積極的に啓発活動が実施されています(7月18日(木)「人権のまちづくり市民の集い2024」講演会開催)。

矢部清流学園でも、「全ての差別をなくす」「互いの人権を守る」ことを願い、それぞれの学年に応じた活動を行っています。放送・図書専門委員会の取組で、「人権」について考えるチラシを配ったり、クイズ等を作ったりして、啓発しました。前期課程では、朝活動で歌う今月の歌で「コミュニティ(共同社会)」を、心をこめて歌っています。また、職員も一緒に「人権バッジ」を作成し、人と人がよりよくなっていくために自分自身が心がけるメッセージを胸につけて、日々意識して生活しています。この取組は、これまで前期課程だけで行っていましたが、今年度、茉那さん(9年)が前期課程の先生に作成の仕方等を尋ね、後期課程にも広げてくれました。一方、後期課程では「ハンセン病」についても学び、「差別のない世の中にしたい」という思いを更に強めることができました。



イトマンスイミングスクールのコーチによる水泳授業

天候により、水泳の授業スタートが少し遅くなりましたが、今年度からイトマンスイミングスクールから4名のコーチに指導していただき、充実した授業を行うことができました。1・2年生は、フラフープを使ったり、蛙歩きをしたりといった活動を通して、楽しみながら水に慣れていきました。7月12日(金)には、世界水泳選手権のメダリストのコーチにも指導していただき、授業の最後に、そのコーチとクロール対決も行いました(学年に応じたハンディキャップ有り)。挑戦した児童生徒との対決は僅差で、大盛り上がりでした。

※本年度から、八女市の補助金を活用して、イトマンスイミングスクールと提携した水泳の授業を展開。



新清流会役員選挙立ち合い演説会 7月11日(木)

7月11日(木)、新清流会役員(清流会会長)を決める立ち合い演説会を行いました。開校して5年、清流会の組織を今年度、改革しました。昨年度から、
さん(9年)と
さん(8年)が清流会の組織を見直す検討委員として活動しており、改選規約を新たに以下のように設けました。2人の頑張りに敬意!感謝!

【清流会執行部】

- 清流会会長 1名 (7・8年生から立候補 → 選挙にて決める)
- 清流会副会長 1名 (7・8年生から、清流会会長の任命により決める)
- 各専門委員長 4名 ※副会長は兼任可
(7・8年生から互選 4つの各専門委員会のメンバーから話し合いにより決める)
- 各副専門委員長 4名 ※前期課程児童会を動かす役割
(5・6年生から互選 4つの各専門委員会のメンバーから話し合いにより決める)

本年度の清流会会長選挙には、7年生の
さんが立候補し、立ち合い演説会に臨みました。落ち着いた口調で「みんなの笑顔が絶えない学校にしたい。各専門委員会と連携して、縦割り班の活動を大切にしたい。」という熱い思いを全校児童生徒に伝えました。全員が温かい拍手で彼の思いに応え、そして、質疑応答では、誰もが、
さんの思いが実現できるように、自分がどう関わっていくのかを述べたり、支援する考えを述べたりしました。1年生も、しっかり自分の考えで応援メッセージを送ることができ、感銘を受けました。立候補者は1名であったため、選挙は行わず、この立ち合い演説により信任
さん!よりよい清流会を仲間とともに築いていってください!



(総合的な学習の時間) 矢部村地域おこし PR 活動 9年生 6月12日(水)

1年生から生活科や総合的な学習の時間を利用して「ふるさと矢部を愛する心」を育てる活動を様々行っています。その集大成として行っているのが、9年生の「矢部村地域おこし PR 活動」です。今年度の最初の活動は、「矢部村に長く住んでいらっしゃる方々の話を聞こう!」と題して、二人のゲストティーチャー、栗原久助さん(浮立保存会会長)、高山あけみさん(矢部食心会会長)のお話を聞きました。

【栗原久助さんの話から】

昭和19年に生まれ、80年間矢部に住んでいる。盛んだった林業は、時代の変化とともに厳しい産業となってしまった。澄んだ空気、水、緑といった自然の恵は先人たちの努力の賜物なので、忘れてはならない。東京明治神宮の柱、そして、広島宮島の鳥居には、矢部の杉・檜が使われている。誇れることだ。不便さという欠点から、村外に出る人が増えたが、住んでいる我々がもっともっと知恵を出し、よそから人を呼ぶ努力をしなければならぬ。もみじ、つつじ、桜を植え、手入れして、環境整備を行っている。共に村を守ろうとする仲間がいることがうれしい。浮立保存会のメンバーは年々少なくなってきたが、矢部が誇る伝統芸能を、今は、矢部清流学園のみながしっかりと受け継ぎ、守ってくれていることに本当に感謝している。

【高山あけみさんの話から】

1950年生まれ。平成元年に柚の里溪流公園がオープンし、カレーや郷土料理が飛ぶように売れた。その後、「そば処 まんどき」を立ち上げて、多くの客に喜んでもらった。自然豊かな矢部の学校に通わせたいという親の願いを叶えるために、矢部の仲間とともに山村留学も経営し、多くの子ども達と関わってきた。その後、山村留学もまんどきそばもなくなってしまったが、「食心会」のメンバーと共に、村のイベントを中心に郷土料理を提供している。子ども達との活動(そば打ち体験等)を大切にしている。

矢部のすばらしさを県知事へ伝えにいったことがある。日本書紀に描かれている八女津媛伝説のことや、南北朝時代、吉野(奈良県)から派遣された懐良(かねなが)親王や良成(りょうせい)親王の安息の地となり、今でも大袖公園祭が営まれていることを話した。矢部の住民により、歴史を大切に守り、受け継いでいることはすばらしいこと。一人では何もできないが、みんなで力を合わせれば何かできる。みんなが集うことで活力が生まれる。年老いたため、昔みたいにはできないが、矢部のために自分がやれることを一生懸命頑張っていきたい。



4・5年生 集団宿泊体験学習 6月28日(金)~29日(土)

大雨避難警報が出て、八女市内の小中学校が休校になった6月28日(金)。出発が危ぶまれたのですが、目的地「海の中道青少年海の家」の天候やバス運行の状況等から十分に検討した上で、実施を決定した集団宿泊体験学習。保護者の皆様のご理解、ご協力に深く感謝申し上げます。

子ども達の日ごろの行いの良さからでしょう。宿泊体験先の天候は良好で、計画していた野外活動(飯盒炊飯やオリエンテーリング)は全て実施できました。出発時、集中力に欠ける点があった子どもも、「係の仕事を責任もって果たす」「仲間と協力し合う」ことを通して大きな成長が見られ、帰校式では、全員に笑顔と凛々しさを感じられました。

朝のつどいでは、他校との交流もあり、代表して学校紹介をしたさん(5年生)の話に誰もが感銘を受けたと報告があり、学校目標「ふるさと矢部を愛する心」が脈々と育っていることを大変うれしく思いました。



【さん「朝の集い」の挨拶から】

矢部清流学園は、八女市矢部村にある義務教育学校です。1年~9年、みんな仲良く過ごしています。

矢部村には、春に日向神ダムの周りに千本桜が咲きます。夏には、源流公園にたくさんの方が遊びに来ます。秋にはきれいな紅葉が見られます。矢部清流学園の生徒と先生で、「浮立」という踊りを披露します。冬は、みんなと雪で遊びます。自然豊かな村です。今日は、福智町立市場小学校のみなさんと朝のつどいができることをうれしく思います。昨日は、野外炊飯でみんなと協力し、おいしいカレーを作ることができました。キャンドルの集いでは、誓いの言葉を言ったり、みんなと遊んだりしました。今日は、2日目なので、みんなと協力し、いろいろな活動をして帰りたいです。今日も1日よりしく願います。

※当日は全く原稿を見ずに発表しました。

Welcome to Yabe!! 短期転入 さん(4年生)

6月17日(月)~7月19日(金)、4年生に転入生がやってきました。バンコク(タイ)在住のさんが夏休みを利用して、矢部清流学園に短期転入。空気が綺麗な矢部での生活を望まれて転入したのですが、1カ月、矢部清流学園の子どもとのふれあいを通して、心豊かな時間を過ごすことができたのではないかと思います。お別れするのは、本当にさみしいですが、このつながりを大切にしてほしいと思います。

是非、来年も来てくださいね! タイでも頑張ってください!

